

さいたま市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和7年12月26日

さいたま市長

清水 正人

さいたま市規則第 1 1 9 号

さいたま市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

第 1 条　さいたま市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則（平成 1 3 年さいたま市規則第 5 4 号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
(勤勉手当の成績率) 第 2 4 条　成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 <u>1 0 0 分の 1 1 2 . 5</u> （条例第 2 7 条第 2 項に規定する特定管理職員（次号において「特定管理職員」という。）にあつては、 <u>1 0 0 分の 1 3 2 . 5</u> ） (2) 定年前再任用短時間勤務職員 <u>1 0 0 分の 5 2 . 5</u> （特定管理職員にあつては、 <u>1 0 0 分の 6 2 . 5</u> ）	(勤勉手当の成績率) 第 2 4 条　成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 <u>1 0 0 分の 1 1 0</u> （条例第 2 7 条第 2 項に規定する特定管理職員（次号において「特定管理職員」という。）にあつては、 <u>1 0 0 分の 1 3 0</u> ） (2) 定年前再任用短時間勤務職員 <u>1 0 0 分の 5 0</u> （特定管理職員にあつては、 <u>1 0 0 分の 6 0</u> ）

第 2 条　さいたま市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
(勤勉手当の成績率) 第 2 4 条　成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める割合の範囲内で、任命	(勤勉手当の成績率) 第 2 4 条　成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める割合の範囲内で、任命

<p>権者が定めるものとする。</p> <p>(1) 定年前提任用短時間勤務職員以外の職員 <u>1 0 0 分の 1 1 1. 2 5</u> (条例第 2 7 条第 2 項に規定する特定管理職員 (次号において「特定管理職員」という。)) にあつては、<u>1 0 0 分の 1 3 1. 2 5</u>)</p> <p>(2) 定年前提任用短時間勤務職員 <u>1 0 0 分の 5 1. 2 5</u> (特定管理職員にあつては、<u>1 0 0 分の 6 1. 2 5</u>)</p>	<p>権者が定めるものとする。</p> <p>(1) 定年前提任用短時間勤務職員以外の職員 <u>1 0 0 分の 1 1 2. 5</u> (条例第 2 7 条第 2 項に規定する特定管理職員 (次号において「特定管理職員」という。)) にあつては、<u>1 0 0 分の 1 3 2. 5</u>)</p> <p>(2) 定年前提任用短時間勤務職員 <u>1 0 0 分の 5 2. 5</u> (特定管理職員にあつては、<u>1 0 0 分の 6 2. 5</u>)</p>
--	--

## 附 則

### (施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第 2 条の規定は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

### (適用)

- 2 第 1 条の規定による改正後のさいたま市職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則第 2 4 条の規定は、令和 7 年 1 2 月 1 日から適用する。